

第3回デイサービスゆうゆうの家運営推進会議

開催日時	平成29年9月28日 16:30 ~ 17:50
開催場所	デイサービスゆうゆうの家 機能訓練室
参 加 者 (8名)	ご利用者様 杉崎様 ご利用者家族様 嶋口様 近隣住民代表 富永様 民生委員 中田様 南第2地域包支援センター職員 清野様 デイサービスゆうゆうの家代表 田中久嗣 デイサービスゆうゆうの家管理者 田中三代子 デイサービスゆうゆうの家生活相談員 西谷英子
司会進行	管理者 田中三代子
議 事 錄	田中 久嗣

1 当日の次第

- (1) 開会の挨拶
 - (2) 出席者の紹介
 - (3) 前回議事録の配布 (この議事録につきましてはホームページにて公開しています)
 - (4) 活動状況の報告
 - (5) ヒヤリ・ハットや事故等の報告
 - (6) ミニ・ヒヤリ・ハット実施状況について
 - (7) 利用者様の1ヶ月の状況報告について
 - (8) 相談・苦情等の報告
 - (9) 出席者からの活動状況の評価、要望、助言等の傾聴
 - (10) 意見交換、質疑応答
 - (11) 閉会の挨拶
-

- (1) 開会の挨拶
- (2) 次に、本日の出席者の紹介をさせていただきます。
- (3) 前回の議事録を配布したいと思います。この議事録は当施設のホームページにて公開していますのでどなたでも閲覧できるようになっています。
- (4) 活動状況の報告

平成29年9月28日現在の当事業所の利用者数は18人です。

(要支援者4名、要介護者14名)

毎日利用の方を含め、複数回ご利用の方がいらっしゃいますので、1日平均9名です。

一日の利用者平均介護度は2.7です。

4月お花見
8月夏祭り
10月コスモス観賞予定（リサイクル公園）

（6）ヒヤリハットと事故の報告

平成29年3月1日～本日まで 13件 読み上げ

（7）ミニ・ヒヤリ・ハット実施状況について

前回の運営推進会議にて清野様から提案がありました。「ヒヤリ・ハットになりうるかも」という気付きを記録されてはいかがですか、に取り組みました。

当施設にて「ミニ・ヒヤリ・ハット」と名付け日々、各職員がノートに記入しました。その状況の集計表を配布の上、説明致しました。（[別紙資料参照Excel](#)）

（8）利用者様の1ヶ月の状況報告について

毎月、各ケアマネージャー様に利用者様の1か月の状況報告を行っているのですが、マクロ的（大局的、大まかに）に記入するため、毎月、同じような内容が羅列しているのが現状です。なので、今後は、ミクロ的（局所的、細かく）にある言動にスポットを当て、掘り下げる様な報告を実施したいと思います。

＊＊記入方法＊＊

1、担当職員はモニタリングを実施の上、その利用者については1人で記入、完成させる。

2、担当は1年間同じ利用者様とする。（先月書いたことが解る）

3、モニタリングの方法

＜ゲームや体操、個レク・食事等＞

そのプログラム担当以外のモニタリング担当者がモニタリングを実施。第三者に扮しメモを取る。

＜入浴＞

実際自分が最低2回は担当し、1人ひとり入浴終了時にメモを取る。（この場合、入浴介助時間が長引いてもOKです）

＜送迎＞

担当者は送迎に行って貰いますが、細部まで観察しメモを取るようにして下さい

4、送迎・入浴についてはPCにて電子会議を実施、意見交換出来るようにする。

5、担当職員は詳しい内容が解る職員に意見を聞く。

6、会議でカンファレンスを実施する。（意見交換会）

（9）相談苦情等の報告

平成28年12月1日～本日まで 3件 読み上げ

（10）それでは活動状況の評価や要望、助言等をお聞かせ頂きたいのですが・・・

清野様・・・ミニ・ヒヤリ・ハットについては、ここまで細かくデータを取り分析するのは凄いと思います。これは良い資料ですので施設で活用されると、危険回避に役立つと思います。

1ヶ月の状況報告については「お変わりございません」という報告ばかりの所もあります。それに比べるとこれまで細かく記入されていると思います。今後、もっと細部にまでなると、職員さんの負担が気に成ります。後、ケアマネージャーからすると、提案を頂けると非常にありがとうございます。

これは虐待についてですが「ちょっと待って下さい」は虐待と捉えられかねないのでこの場合、「お待ち頂けますか」とお話し掛けして下さい。本人の意志を尊重する観点からこのようにお願ひします。

(11) 続きまして、質疑応答に入りたいと思います。

中田様・・このヒヤリ・ハットとかミニ・ヒヤリ・ハットとかは義務なのですか？役所などに報告しないといけないのですか？

田中久嗣・・報告の必要はないですがヒヤリ・ハットについては記録を残しておくことが施設としては義務付けられています。ミニ・ヒヤリ・ハットはこの施設のためにしていることです。

中田様・・いやーこれ見ると凄く細かく手間な作業で実際されて居る事に驚いています。だから、これをしなさいと指導されているのかと思いました。

富永様・・人それぞれやから、細かい所まで見とかなあかんねんな

田中久嗣・・そうですね、個性に合わせ対応するにはこれぐらいはしないと、ですね

中田様・・これだけのことをされていても、こちらで対応しきれず、辞めて頂くような方もおられるのですか？

田中久嗣・・男性の利用者様ですけど、突然大声を出されることが続き、他の利用者様が怯える事態に成りました。その時は、ケアマネージャーに相談させて頂き辞めて頂く事になりました。他にも同じ事情で男性2名おられます。

嶋口様・・以前もお話ししましたが、失語症の母がこちらを利用するようになって、今は本当に普通に話が出来るようになりました。

田中久嗣・・ありがとうございます。「言葉を発しないとまずい」という状況をわざと作らせて貰う事もあります。お帰りの際、私が靴を履くお手伝いをするのですが、間違えたふりをして、私の靴を履いて頂く様にすると「それあかん」「それ違う」とおっしゃいます。このような機会を多く作る事を心がけました。

富永様・・社長がおやつの時間、それぞれの方に色々話したはるけど、ほんま反応もそれぞれなんやけど、その人におうたような話したはるわ

清野様・・南区で詐欺事件が最近2件発生しています。手口は「高価買取」で、金など高価なものを査定する振りをして持ち逃げされたそうです。また、利用者様や家人様にも注意喚起よろしくお願ひします。

それではこれをもちまして第3回ゆうゆうの家運営推進会議を終了させて頂きます。

次の開催は平成30年3月辺りに予定しております。その際はまたお声を掛けさせて頂くと思いまので、よろしくお願ひします。

本日は誠にありがとうございました。